

研修医新聞

第87号
Feb-Mar. 2018

三重大学研修医 間瀬陽子 指導医 小出泰平Dr

7カ月間の紀南病院での研修も終わりを迎えようとしています。様々な研修医の仲間と出会えたこと、地元だから敢えて行くことがなかった観光にも同期と行けたことは貴重でした。また、今回久しぶりに地元で約半年間暮らし、『地域を知る』という目標を様々な側面から少しは達成できたような気がします。人の生死に関わる仕事で何かとストレスも多かったですが、優しい指導医の先生方やスタッフの皆様に囲まれて仕事が出来たことは本当に幸せでした。2年間の内で外科が最長で4カ月間の研修でしたが、入院から退院までの経過の中で沢山のことを学ばせて頂くことが出来ました。

さて、紀南病院での研修が終わると同時に初期研修も終了です。これまで2年間を通じて様々な病院で研修させて頂きましたが、最後にここに来て患者さん一人ひとりを総合的にじっくり診させて頂けたことはとても良かったと感じています。医師になりたての頃から『どんな医師になりたいか』日々考えてきましたが、一言でいうと自分や家族が病気になった時に診てほしいと思える様な医師になることだと思ふようになりました。

4月からは眼科の道に進みます。この2年間で学んだことを直接活かしていくのはやや難しいのかもしれませんが、初心を忘れず日々診療に携わっていきたいです。半年間本当にお世話になりました。またお会いできるのを楽しみにしています。



東京大学研修医 山口美保 指導医 辻正範Dr

1月から3月まで紀南病院で研修させて頂いています。紀南病院に来て良かったことを厳選して3つ挙げさせて頂きたいと思います。

1つ目は、今までよりも実践的な臨床研修をさせて頂いていることです。自分はどう思うのか主体的に治療方針を考えるように指導して頂いて大変勉強になっています。指導医の辻先生にはとても感謝しています！

2つ目は、臨床面でも、生活でも、本当に色々な方に支えられていることを実感しました。例を挙げるときりがありませんが、医療の現場はささいな気遣いが非常に重要で、自分がしてもらって有り難かったことを私も相手にしていけたらいいなと思いました。

3つ目は、環境の良さです。美味しい食べ物が沢山あって、自然にも恵まれ、とても癒されました。仕事にも海の綺麗さに立ち止まって見とれていたことが何度もあります。

厳選した割にはほぼ全部が良かったんじゃないんですけど(笑)、紀南病院で地域研修することができて本当に良かったです！関わったすべての方へ、心から...ありがとうございます！

三重大学研修医 杉岡直弥 指導医 森川昇玲Dr

紀南病院での7カ月の研修も、2月でついに終わりを迎えました。昨年の8月に紀南病院に来た時には「7カ月は長いなあ、、、」と感じていましたが、今になってみると「もう終わってしまうのか、、、」という思いです。7カ月の間に、三重大病院や東大病院、その他県内の市中病院、そして新宮医療センターと多くの病院からの研修医とも一緒に研修することができ、新たな刺激を得ることが出来ました。

整形外科で1カ月、外科で2カ月、最後の4カ月は内科で研修をさせて頂きましたが、この7カ月間で本当に多くの方にお世話になりました。上級医の先生方、病棟の看護師さん、検査技師さん、薬剤師の方々、連携室の方々、事務の方々、僕のオーダーや動き出しが遅かったり、しょうもないことで電話して質問してしまったりということもあったと思いますが、いつもやさしく教えていただき本当にありがとうございました。

紀南病院で研修することができて本当に良かったです。時期などはわかりませんがまた紀南病院に帰ってくると思うので、その際にはよろしく願います。



Kumano Kodo

通い峠&風伝峠

